

授業と評価の年間計画

教科	地理歴史	科目	地理B	
使用教科書(発行所)	新編 詳解地理B (二宮書店)			
履修条件 対象生徒	選択 普通科・理数科 3年			
学習目標	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。			
学習方法	教科書(二宮書店)と地図帳(帝国書院)を核として、資料集コンプリート(帝国書院)やサクシード(啓隆社)を活用して授業を展開する。地図帳や地球儀を使うことで空間的な認識を深めるとともに、グラフや図表にも目を通し、日頃から各種統計資料の活用を図る。また、数多くの演習を通じて出題傾向をつかむ。			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1)中間考査まで ア 人口と村落・都市 (ア)世界の人口分布と人口増加 (イ)人口問題 (ウ)村落と都市 (エ)都市・居住問題 (2)期末考査まで ア 生活文化と民族・宗教 (ア)衣食住 (イ)言語と宗教 (ウ)民族と国家 (エ)日本の領域と領土問題		・現代世界をとり巻く、一国では対処することが困難な全地球的規模のさまざまな課題について考察する。 ・村落・都市の形態による分類と特色、歴史的にみた発達について理解する。 ・衣食住の地域的差異を大観する。 ・これまでの学習を踏まえ、現代世界の動向と課題について応用的に学習する。その際、地理学習の基礎となる「地図」を活用して考察を深める。	
	2 2学期 (1)中間考査まで ア 現代世界の諸地域 (ア)アジア (イ)アフリカ (ウ)ヨーロッパ、ロシア (2)期末考査まで ア 現代世界の諸地域 (ア)アングロ・ラテンアメリカ (イ)オセアニア イ 大学入試共通テスト演習		・世界の諸地域について、地図やグラフ、表などを活用する能力を高め、世界の諸地域がもつ共通性や特異性について、多面的に考察するとともに、今後の日本のあるべき姿について考察する。 ・これまで実施された大学入試共通テストや大学入試センター試験の過去問を解答し、問題傾向に慣れる。	
	3 3学期 (1)学年末まで ア 大学入試共通テスト直前演習		・予想問題集などで直前演習を行う。	
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、追究した過程や結果を適切に表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査や課題考査の成績を重視するが、小テスト、授業態度、課題や提出物なども含め、総合的に判断して評価する。			
その他	共通テストでは、地図・表・グラフ・写真などを見て答えさせる問題がほとんどである。単に暗記しているだけでは高得点は望めないため、授業では地図帳・資料集・統計要覧は必ず持参し、大いに活用すること。			